

平成29年度 学校自己評価システムシート (県立深谷商業高等学校)

目指す学校像	輝かしい歴史と伝統の上に立ち「至誠・士魂商才」の校訓のもと、地域産業の未来を担う人財の育成を使命とし、「中学生があこがれを持って目指す学校」、「企業から信頼される生徒を育てる学校」、「地域に貢献し、支援される学校」を目指す。
--------	--

重点目標	1 自ら学ぶ姿勢を持ち、確かな学力とビジネスの実践力を持った生徒を育成する。 2 マナーと規律を守り、思いやりの心を持った生徒を育成する。 3 進路に対する高い志を持ち、その実現のために主体的に活動する生徒を育成する。 4 地域・保護者と連携し、地域・保護者に信頼される学校を作る。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	普通教科、専門教科ともに意欲と目的を持たせる指導に取り組み、全商3種目以上1級取得者143名(全国16位)などの成果を上げている。生徒アンケートでは、9割以上の生徒が授業に真剣に取り組んでいると答えているが、一方、家庭学習をあまりしない生徒が約4割に上るなど、主体的に学ぶ姿勢とはなっていない。 生徒の思考力、判断力、表現力を高め、主体的に学ぶ姿勢を身につけさせる指導を充実させるための工夫が必要である。	確かな学力の上に立ち、ビジネスの実践力を高める指導の実施	1 ビジネス実践力の基となる基礎学力の向上、主体的学習態度、望ましい職業観・倫理観の育成、マナーやモラルの指導を全ての教科、授業で実践する。 2 各科目の学習の目的や目標や具体的な評価方法の明示、適切な課題や宿題の工夫、資格取得の奨励などにより、学習の動機付けを行い、主体的な学習を促す。 3 1時間1時間の授業の中で、思考力、判断力、表現力を高め、主体的に学ぶ姿勢を身につけさせる指導を実施し、教員研修を行い取り組みの共通理解を図る。	1 生徒の授業への参加態度、授業規律の状況 2 各種検定の取得状況(普通教科も含む)及び家庭学習の取り組み状況 3 授業改善の実施状況及び教員研修の実施状況			
2	生徒の生活面は概ね良好と言えるが、ビジネス社会で評価される高い職業倫理や主体的な判断に基づき行動できるモラル、マナーにまでは至っていない。 生徒に具体的な行動目標を与え、主体的に行動できるよう、教科や学校行事その他全ての教育活動における指導を徹底する必要がある。	主体的にモラル・マナーを守る態度を育成する指導の実施	1 身だしなみ、あいさつ、授業規律、交通マナー等、指導項目を重点化し、教育活動の全ての場面における学校全体での同一歩調での指導を徹底する。 2 部活動やボランティア活動、体験活動等への参加を奨励する。	1 身だしなみ、あいさつ、授業規律、交通マナー等の状況の評価及び、アンケートでこれを主体的に守っていると答える生徒の数 2 部活動、ボランティア活動等への参加生徒数及び、活動状況			
3	4年連続、卒業時進路決定100%であり、昨年度の大学進学者は64名の増加傾向にある。早期から生徒に目的意識を持たせる指導の成果により良好な進路実績を保っている。 今後も、この実績を維持するためには、学習指導要領改訂、大学入試改革などで求められる新しい時代に生きる力を育む教育への対応を図り、教科指導や特別活動などのあらゆる場面を通じた、計画的・積極的なキャリア教育の推進が必要である。	高い進路目標を持たせ、その実現を支援する指導の実施	1 キャリア教育への理解を深め、各教科で、学習内容と進路の関係を指導するなど、あらゆる場面でのキャリア教育を推進する。 2 進路目標を早期に確立させ、目標達成のための体的な活動を促すよう、進路ガイダンスや外部講師による進路講演などの進路関係の諸事業を工夫・改善・充実する。 3 生徒、保護者が主体的に活動できるよう進路情報の提供や進路相談を工夫・改善する。	1 キャリア教育に関連する講演会数等 2 就職・進学希望者の進路決定状況 3 生徒・保護者の進路指導に関する満足度			
4	地域の専門高校としての本校の役割が理解され、地元企業からの求人や意欲のある中学生の入学など一定の評価を受けており、地域との良好な信頼関係を維持できているが、入試倍率は3学科平均1.09倍であり、高くない。商業高校が地域発展に果たす役割への理解を深め、魅力を発信する積極的な地域連携を推進する必要がある。	保護者、地域、企業、中学校等との連携の実施	1 学校行事の保護者・地域への公開と情報提供を促進する。 2 体験入学、学校説明会などの中高連携行事を改善し実施する。 3 地域との連携事業へ積極的に参画する。	1 保護者の学校行事への参加状況ならびに、学校からの情報提供への満足度 2 中学生の進路希望状況 3 地域への行事参加数			

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	平成	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		